

樹木等の植栽と維持管理について

1. 植栽計画について

人材を配置するのに“適材適所”という言葉がありますが、樹木を植栽する時にも“適地適木”という概念があります。生育環境にあった樹木を選んで植栽計画を立てることをお勧めします。具体的には次のことに留意してください。

- ① 将来的な成長時の姿を想定し、維持管理が可能な植栽を計画してください。
- ② 樹木等の特性を考慮して植栽を計画してください。(別表[樹木の特性・地被類の特性]参照)
形状…成長時の大きさ・樹形など
性質…常緑・落葉、花や実がきれい、成長が早い・遅い、乾燥に強い・弱いなど
日照条件…日向を好むもの・日向に弱いもの・日陰を好むもの・日陰に弱いもの
維持管理…手間がかかる・かからない(剪定・刈込・病虫害防除・除草など)
※特に植栽場所の日照条件(陽～中～陰)に配慮して樹木等を植栽することが大切です。
- ③ 植栽密度については、高木・中高木は1本/10㎡、低木は1～9本/㎡(標準4本/㎡)、生垣は2～4本/m(標準4本/1.2m)、壁面緑化用ツル植物は3～5本/m(標準4本/m)、地被植物・草花は16～44本/㎡、芝は7分張り以上(標準全張り)を目安にしてください。
- ④ 質の良い緑化に努めてください。
(芝生だけでなく中高木や低木などの樹木を植栽することによって「見た目の緑」は格段に良くなり、潤いのある空間となり建築物の付加価値が上がります)
- ⑤ 屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化にはいろいろな工法があるため、実績・維持管理方法などを検討して適した工法を選択してください。
- ⑥ 屋上緑化では、荷重条件、漏水対策、かん水方法、強風対策に配慮してください。
- ⑦ 壁面緑化では、登はん補助資材(金網、マット、パネルなど)の選定とそれに適したツル植物(金網に巻き付くもの、壁面に付着するもの、下垂するものなど)の選定が重要です。

2. 植栽の方法と維持管理について

樹木等は植栽したら完了ではありません。その後の健全な生育を果たすためには植栽の方法と維持管理が重要です。具体的には次のことに留意してください。

- ① 植栽スペースを十分に確保してください。
植栽スペースの幅員は、低木は50cm以上、高木は1m以上とると良いでしょう。
- ② 山砂・バーク堆肥・緩効性化成肥料・鶏糞・パーライトなどを混入し、土壌改良をしっかりと行ってください。現状土が劣悪な場合は土を入れ替えると良いでしょう。
- ③ 植栽後の養生のためマルチングとしてバーク堆肥を敷くと良いでしょう。(厚さ2～3cm)
- ④ 芝・地被植物等の植栽帯に人や車が入り込む可能性がある場合は柵を設置したり飛び石を置いたりして踏圧による枯損を防ぐと良いでしょう。
- ⑤ 植栽してから活着するまでの1～2年は、特に、枯れないように維持管理に気をつけてください。

※ 緑化地域制度では、建築完了後も緑化施設を良好に維持管理することが義務付けられています。緑化率の最低限度の規定に違反する事実が認められる場合には、立ち入り検査や是正措置命令を行うことがあります。

[樹木の特性]

樹木		生育環境条件				管理		景観			生物多様性		
		日陰でも育つ	乾燥に強い	排気ガスに強い	ヤセ土に強い	生長が遅い (刈込の手間が少ない)	生垣に適している	花が咲く	紅葉(黄葉)する	実がなる (鑑賞の対象として)	日本の在来種である	東海地方に自生する	
高木・中高木	常緑	アラカシ			○		○				○	○	
		クスノキ			○						○	○	
		クロガネモチ	○		○			○		○	○	○	
		シマトネリコ						○		○			
		シラカシ						○			○		
	マテバシイ			○						○			
	ヤマモモ	○	○	○	○	○			○	○	○		
	落葉	イチョウ			○				○			○	○
		エゴノキ				○		○			○	○	
		ケヤキ						○	○		○	○	
コブシ							○			○	○		
トウカエデ				○				○		○	○		
ヤマボウシ						○	○		○	○			
中木	常緑	イヌツゲ	○		○		○	○			○	○	
		ウバメガシ		○	○		○	○			○	○	
		サザンカ	○		○			○			○		
		サンゴシュ	○		○			○		○	○	○	
		ネズミモチ	○		○		○	○			○	○	
		ヒイラギ	○	○	○		○	○			○	○	
		ヒイラギモクセイ	○		○			○			○	○	
		モッコク	○		○		○				○	○	
	ヤブツバキ	○		○		○				○	○		
	落葉	マンサク	○			○		○	○		○	○	
ムクゲ				○	○		○						
低木	常緑	アオキ	○		○		○	○		○	○	○	
		アセビ	○	○	○			○			○		
		アベリア		○	○			○	○				
		カンツバキ	○					○					
		クチナシ	○		○		○	○		○	○	○	
		ジンチョウゲ			○		○	○					
		トベラ	○	○	○			○			○	○	
		ハクチョウゲ						○					
		ヒイラギナンテン	○		○		○	○					
		ヒサカキ	○	○	○			○			○	○	
	ヒラドツツジ						○						
	マメツゲ	○								○	○		
	ヤマツツジ	○								○	○		
	落葉	アジサイ							○				
		ニシキギ							○	○	○	○	
ヤマブキ		○						○		○	○		
ユキヤナギ							○	○		○	○		
コニファー	エレガンティシマ						○						
	オウゴンコノテ						○						
	カイズカイブキ		○	○			○						
	キャラボク	○				○	○			○			
	ゴールドクレスト						○						
	スカイロケット						○						
	ブルーヘブン						○						
	ヨーロッパゴールド						○						

参考文献： 緑化木の特性・形状と利用
 緑化樹木ガイドブック
 道路緑化技術基準・同解説

愛知県緑化センター
 (財)建設物価調査会
 (社)日本道路協会

〔 地被類の特性 〕

地被類		生育環境条件				管理 踏圧に強い	景観		生物多様性	
		日陰でも育つ	乾燥に強い	寒冷に強い	高温に強い		花が咲く	実がなる (鑑賞の対象として)	日本の在来種である	東海地方に自生する
草本類	シバザクラ			○	○		○			
	ジャノヒゲ	○	○	○	○			○	○	
	セダム類		○		○					
	タマスタレ	○	○		○		○			
	タマリユウ	○		○	○				○	○
	ツワブキ	○		○	○		○		○	○
	ヒペリカム類				○		○			
	マツバギク		○	○	○		○			
	ヤブラン	○	○	○	○		○	○	○	
ツル植物	アケビ	○	○	○	○		○	○	○	○
	オオイタビ	○	○		○				○	○
	キツタ	○		○	○				○	○
	クレマチス		○		○		○			
	コトネアスター				○		○	○		
	テイカカズラ	○			○		○		○	
	ナツツタ			○	○				○	○
	ピンカミノール									
	ヘデラ・カナリエンシス			○	○					
ヘデラ・ヘリックス			○	○						
シバ類	コウライシバ		○		○	○			○	○
	センチビードグラス	○	○		○	○				
	ノシバ		○	○	○	○			○	○
	バミュータグラス		○		○					
ササ類	オカメザサ	○	○		○	○			○	○
	クマザサ	○	○	○	○	○			○	
	コグマザサ	○	○		○	○			○	○
コケ類	スギゴケ	○							○	○
	スナゴケ	○							○	○
	ハイゴケ	○							○	○

参考文献： グラウンドカバープランツ 地被植物による緑化ハンドブック
 緑化樹木ガイドブック
 畦畔と圃場に生かすグラウンドカバープランツ

誠文堂新光社
 (財)建設物価調査会
 (社)日本道路協会

※病害虫の防除について

病害虫の被害を全く受けない植物はありませんが、樹種の選択や生育環境、管理方法を工夫することにより、病害虫の発生を抑えることができます。

また、病害虫が発生した場合も、農薬の飛散により人の健康や農作物に悪影響を及ぼすため、出来るだけ農薬を使用しない防除方法を心がけてください。

詳しくは、名古屋市公式ウェブサイト内「農薬・殺虫剤等の使用について」をご覧ください。

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-22-11-0-0-0-0-0-0-0.html>

※「殺虫剤等薬剤の適正利用マニュアル(屋外 農薬編)」には、病害虫が発生しやすい植物や防除方法、農薬を使用するに当たっての留意点などが紹介されています。

樹種選びや維持管理を行う上で参考にしてください。

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000076/76497/okugaihen-5.pdf>